

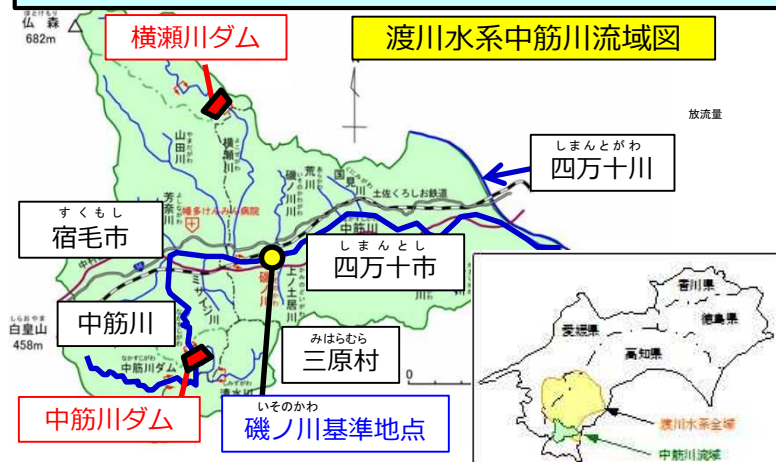
3. 台風第6号における治水事業の効果【渡川水系中筋川】

速報値

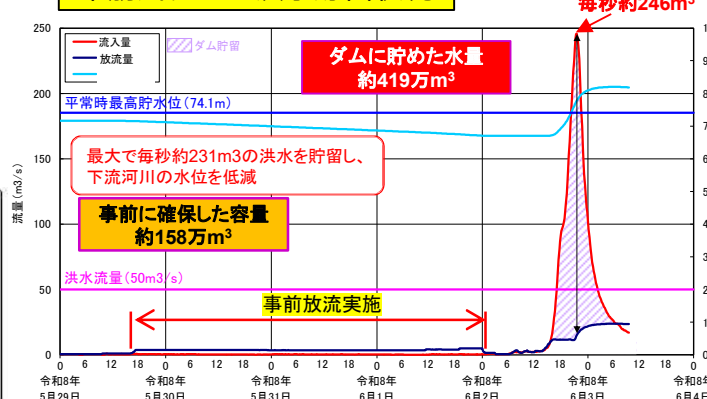
なかすじがわ よこせがわ
中筋川ダムと横瀬川ダムの効果(高知県・渡川水系中筋川)

- 令和8年6月1日からの台風第6号による降雨では、中筋川ダム上流域で累計366mm^{※1}、横瀬川ダム上流域で累計313mm^{※2}を観測。
- 中筋川ダムでは台風へ備え事前放流により約158万m³の容量を確保し、横瀬川ダムで事前に確保されていた貯水容量と2ダムの洪水貯留容量と合わせて約1,540万m³の容量を確保。(中筋川ダム：事前放流確保容量約158万m³、洪水貯留容量810万m³。横瀬川ダム：事前放流確保容量約192万m³、洪水貯留容量380万m³)
- 中筋川ダムでは最大流入量246m³/sの約94%、横瀬川ダムでは最大流入量76m³/sの約99%をダムで貯留。
- 2ダムの洪水調節により、磯ノ川地点で約1.9m水位を低減し、氾濫発生水位の超過を回避したと推定。

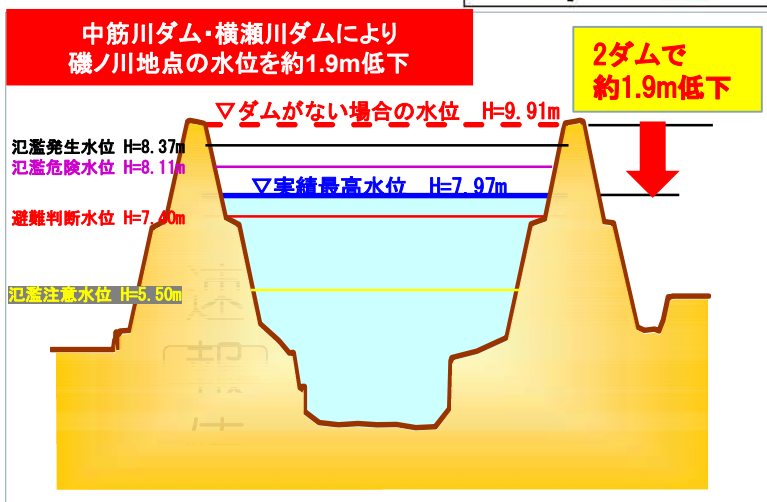
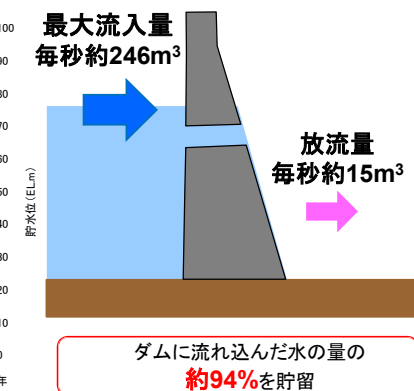
※1:6月1日18時～3日2時(時間最大雨量約52mm・2日19時)、※2:6月1日19時～3日5時(時間最大雨量約44mm・2日19時、20時)



中筋川ダムの洪水貯留状況



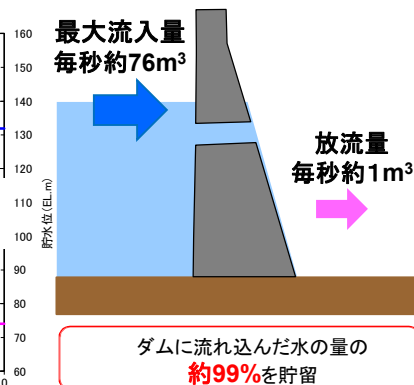
最大流入時の中筋川ダム



横瀬川ダムの洪水貯留状況



最大流入時の横瀬川ダム



※本資料の数値等は速報値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

3. 台風第6号における治水事業の効果 【渡川水系中筋川】

速報値

ダムの貯留状況

中筋川ダム



貯留前 EL=67.00m (6月2日)



今回洪水による貯留量
約419万m³

貯留後 最高貯水位EL=82.00m (6月3日)

横瀬川ダム



貯留前 EL=121.31m (6月2日)



今回洪水による貯留量
約201万m³

貯水位EL=131.28m (6月3日)